

様式1

事業報告書

(自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人社団 エスアンドアール
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
- ☐ 出資額限度法人 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の口を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 静岡市駿河区曲金七丁目7番19号
- (3) 設立認可年月日 平成18年7月14日
- (4) 設立登記年月日 平成18年7月25日

2 事業の概要

- (1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	板井クリニック	静岡市駿河区曲金七丁目7番19号	一般病床 床
			療養病床 床
			[医療保険 床]
			[介護保険 床]

- (2) 当該会計年度内に社員総会又は評議委員会で議決又は同意した事項
- 令和2年4月26日 平成31年度決算の決定
- 令和3年2月28日 令和3年度の事業計画及び収支予算の決定
- 〃 令和3年度の借入金額の最高限度額の決定

様式2

法人名 医療法人社団 エスアンドアール
所在地 静岡市駿河区曲金七丁目7番19号

※医療法人整理番号					
-----------	--	--	--	--	--

財 産 目 録
(自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日)

1. 資 産 額	149,051千円
2. 負 債 額	8,983千円
3. 純 資 産 額	140,068千円

(内 訳) (単位:千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	123,505
B 固 定 資 産	25,546
C 資 産 合 計 (A + B)	149,051
D 負 債 合 計	8,983
E 純 資 産 (C - D)	140,068

(注)財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の口を塗りつぶすこと。			
土 地	(<input type="checkbox"/> 法人所有 <input checked="" type="checkbox"/> 賃借 <input type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))		
建 物	(<input type="checkbox"/> 法人所有 <input checked="" type="checkbox"/> 賃借 <input type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))		

様式3-2

法人名 医療法人社団エスアンドアール

※医療法人整理番号

所在地 静岡市駿河区曲金七丁目7番19号

貸 借 対 照 表

(令和 3 年 2 月 28 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	123,505	I 流 動 負 債	7,292
II 固 定 資 産	25,546	II 固 定 負 債	1,691
1 有 形 固 定 資 産	5,796	(うち医療機関債)	
2 無 形 固 定 資 産	76	負 債 合 計	8,983
3 そ の 他 の 資 産	19,674	純 資 産 の 部	
		科 目	金 額
		I 出 資 金	5,000
		II 積 立 金	135,068
		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		純 資 産 合 計	140,068
資 産 合 計	149,051	負 債 ・ 純 資 産 合 計	149,051

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人社団 エスアンドアール
所在地 静岡市駿河区曲金七丁目7番19号

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日)

(単位:千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	172,688
2 事業費用	167,580
本来業務事業利益	5,108
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	-
事業利益	5,108
II 事業外収益	5,209
III 事業外費用	492
経常利益	9,825
IV 特別利益	253
V 特別損失	
税引前当期純利益	10,078
法人税等	2,087
当期純利益	7,991

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。